

# 令和3年度 今和泉小学校 うみべの教室 ーワカメ種子糸作り体験ー

令和3年4月22日(木)  
水産技術開発センター企画研修部

昨年度は、3回実施予定の“うみべの教室”を新型コロナウイルス感染症対策として中止していましたが、本日、今年度1回目の“うみべの教室”を開催しました。

本日は、当センターにおいて、西野所長からワカメの話を変えた開講式が開催され、鹿児島県の水産業について学んだ後、施設見学をしてから、メカブから遊走子を放出させる作業を全員で体験しました。

今年度は、飼育棟前の屋外で、しかも、13名の児童がワカメのメカブを揉むのに1人1人バケツを準備するなどして、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して臨みました。

児童らは、初めて触ったメカブのヌルヌルとした感触と刺激を与えると海水が茶色に変色することに大変驚いていました。

遊走子を種子糸に付着させる前に、自分達が放出させた遊走子を顕微鏡で直接確認し、元気よく泳ぎ回る遊走子に感動していました。

今後、この種子糸は、約8ヶ月間、水温と照度管理の下で保苗した後、12月上旬に種子糸をロープに巻き付ける作業を行う予定です。

